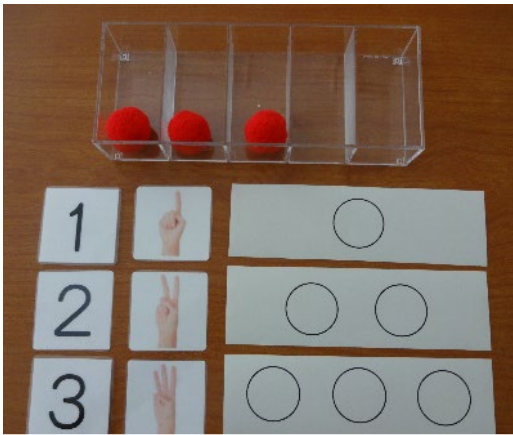


3までの範囲で具体物を取ることの指導 ～マッチングの教材を使用した事例～			
学部・教科	小学部・算数科	事例コード	2 2 1 6
学習グループの実態	<ul style="list-style-type: none"> 小学部2学年 学習や遊びの中で、教師の数唱を聞き、イラストや具体物を自分なりに発声で数えたり、教師の指で表した数を模倣して5までの数を指で表そうとしたりする姿が見られるようになってきた。 1が「いち」、2が「に」など3までの数字とその読み方については、教師の言葉かけを聞いて正しい数字を選び取ることができるようになってきた。 		
単元(題材)名	『かぞえよう ～3までの数～』		
学習指導要領の内容	算数科／小学部1段階 B数と計算 ア 数えることの基礎に関わる数学的活動 (ア) ㊶㊷㊸、(イ) ㊹		
単元(題材)の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	<p>5までの範囲で数唱をすることができる。【ア(ア)㊶】</p> <p>3までの範囲で具体物を取ることができる。【ア(ア)㊷】</p> <p>形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付くことができる。【Bア(ア)㊸】</p>	<p>数詞ともとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。【Bア(イ)㊹】</p>	<p>数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。【小学部1段階B目標ウ】</p>
単元(題材)の計画	<p>総時数 15時間</p> <p>(1) 教師と一緒に1～3までの数と対応する具体物を整理する。・・・5時間</p> <p>① 1～3までの数字とそれに対応する個数の具体物を教師と一緒に確認しながら取り出す。</p> <p>② 取り出した具体物を整理し、教師と一緒に指差しと発声で数える。</p> <p>(2) 無作為に提示された数から、具体物を取り出し整理する。・・・6時間</p> <p>① 1～3までの数字や指で表した数を見たり、聞いたりしてそれに対応する個数の具体物を取り出す。</p> <p>② 取り出した具体物を教師と一緒に数え、指で表す。</p> <p>(3) 数える対象の具体物を、身の回りにあるものやイラストや写真等の平面に変えて取り出したり、数えたりする。・・・4時間</p>		
指導の実際	<ul style="list-style-type: none"> 学習の始めに、1～3までの数字・読み方・指(写真)のマッチングを行い、それぞれが同じであることを確認するようにした。 (1)では、1～3までの数字と対応する具体物を取り出すことができたようになった。指差しと発声での数唱では、仕切りがある容器を使用したことで、順番に数えることができるようになってきた。 (2)では、概ね無作為に提示される数字を見て正しい数の具体物をとることができた。数字を聞いてとる学習は、2と3で混同することがあるので学習の始めに行うマッチングと一緒に数字を読むようにし、定着することができるようにした。 		



マッチングの教材
(数字・写真・具体物)